

第 14 章 準備書の記載事項の修正の内容

第14章 準備書の記載事項の修正の内容

知事意見等を受けて、事業計画及び予測評価内容等の見直しを行った。また、誤字脱字等の修正を合わせて行った。その内容は、以下に示すとおりである。

14-1 都市計画対象事業の名称、目的及び内容（第2章）

準備書の記載内容	頁	評価書の記載内容	頁
(ク) 給水設備 (前略) プラント排水は排水処理設備で下水道放流基準以下まで処理した後、下水道へ放流又は場内で冷却水や廃棄物運搬車両の洗車水等として再利用する計画です	2-28	(ク) 給水設備 (前略) プラント排水は排水処理設備で下水道放流基準以下まで処理した後、下水道へ放流又は場内で冷却水や廃棄物運搬車両の洗車水等として再利用する計画です。	2-28
(2) 公害防止対策 ① 大気汚染対策 ア. 排出ガス処理対策 なお、ごみの処理においては、ごみ質の均一化を図り適正負荷により安定した燃焼を維持することで排出ガス中の大気汚染物質の低減に努める。	2-32	(2) 公害防止対策 ① 大気汚染対策 ア. 排出ガス処理対策 なお、ごみの処理においては、 <u>ごみピットでの貯留による焼却能力との調整や給じん装置を用いたごみ質・燃焼状況に応じた給じん量の調整、ごみクレーンによる攪拌等を通じて、ごみ質の均一化を図り適正負荷により安定した燃焼を維持することで排出ガス中の大気汚染物質の低減に努める。</u>	2-32

14-2 都市計画対象事業実施区域及びその周囲の概況（第3章）

準備書の記載内容	頁	評価書の記載内容	頁
表 3-2-57 産業廃棄物処理施設の地区別・種類別施設数 (前略) 第4地区：銚子市、 <u>佐原市</u> 、成田市、佐倉市、 <u>八日市場市</u> 、旭市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、 <u>匝瑳市</u> 、香取市、酒々井町、 <u>印旛村</u> 、 <u>本埜村</u> 、栄町、神崎町、多古町、東庄町	3-163	表 3-2-57 産業廃棄物処理施設の地区別・種類別施設数 (前略) 第4地区：銚子市、成田市、佐倉市、旭市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、 <u>匝瑳市</u> 、香取市、酒々井町、 <u>栄町</u> 、 <u>神崎町</u> 、 <u>多古町</u> 、 <u>東庄町</u>	3-163

14-3 方法書に対する環境の保全の見地からの意見の概要及びそれに対する都市計画決定権者の見解（第5章）

準備書の記載内容	頁	評価書の記載内容	頁
第5章 方法書に対する環境の保全の見地からの意見の概要及びそれに対する事業者の見解	表紙	第5章 方法書に対する環境の保全の見地からの意見の概要及びそれに対する <u>都市計画決定権者</u> の見解	表紙
第5章 方法書に対する環境の保全の見地からの意見の概要及びそれに対する <u>事業者</u> の見解 (前略) 意見及び事業者の見解は、表 5-1(1)～(4)に示すとおりである。	5-1	第5章 方法書に対する環境の保全の見地からの意見の概要及びそれに対する <u>都市計画決定権者</u> の見解 (前略) 意見及び <u>都市計画決定権者</u> の見解は、表 5-1(1)～(4)に示すとおりである。	5-1
表 5-1(1)～(4)方法書に対する環境の保全の見地からの意見の概要及びそれに対する <u>事業者</u> の見解 <u>事業者</u> の見解	5-1～4	表 5-1(1)～(4)方法書に対する環境の保全の見地からの意見の概要及びそれに対する <u>都市計画決定権者</u> の見解 <u>都市計画決定権者</u> の見解	5-1～4

14-4 方法書に対する知事の意見及びそれに対する都市計画決定権者の見解（第6章）

準備書の記載内容	頁	評価書の記載内容	頁
第6章 方法書に対する知事の意見及びそれに対する事業者の見解	表紙	第6章 方法書に対する知事の意見及びそれに対する都市計画決定権者の見解	表紙
第6章 方法書に対する知事の意見及びそれに対する事業者の見解	6-1	第6章 方法書に対する知事の意見及びそれに対する都市計画決定権者の見解	6-1

14-5 都市計画対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法（第7章）

準備書の記載内容	頁	評価書の記載内容	頁
$\mu\text{gHg}/\text{m}^3$	7-86, 112, 113, 125, 126	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	7-86, 112, 113, 125, 126
表 7-2-1-62 短期高濃度予測の内容	7-100	表 7-2-1-62 煙源条件	7-100
c) 将来バックグラウンド濃度の設定 (前略) 最大着地濃度地点は現地調査地点における 四季平均値の最大値、現地調査地点は各地点の 四季平均値を用いた。	7-101	c) 将来バックグラウンド濃度の設定 (前略) 最大着地濃度地点は現地調査地点における 年平均値の最大値、現地調査地点は各地点の年 平均値を用いた。	7-101
表 7-2-1-70(1) 施設の稼働による大気質の予 測結果(長期平均濃度 最大着地濃度地点) (前略) 注) バックグラウンド濃度は、最大着地濃度地 点の最寄りの現地調査地点である、地点2 (高柳丸山公園)の年平均値を用いた。	7-112	表 7-2-1-70(1) 施設の稼働による大気質の予 測結果(長期平均濃度 最大着地濃度地点) (前略) 注) バックグラウンド濃度は、現地調査地点 における各項目の年平均値の最大値を 用いた。	7-112
i 年平均値 (前略) 方法書に対する知事意見を踏まえ、都市計画 対象事業実施区域と最大着地濃度地点の間に おける高層住居の有無を確認した。	7-113	i 年平均値 (前略) 方法書に対する知事意見を踏まえ、最大着地 濃度地点の方角において、都市計画対象事業実 施区域と最大着地濃度地点の間における高層 住居の有無を確認した。	7-113
③ 環境保全措置 (前略) ・排出ガスは、法規制よりも、より厳しい目 標値を満足させて排出する。 (中略) ・ごみ質の均一化を図り適正負荷による安 定した燃焼を維持することで、大気汚染 物質の低減に努める。	7-124	③ 環境保全措置 (前略) ・排出ガスは、法規制よりも、より厳しい目 主基準値を満足させて排出する。 (中略) ・ごみピットでの貯留による焼却能力との 調整や給じん装置を用いたごみ質・燃焼 状況に応じた給じん量の調整、ごみクレ ーンによる攪拌等を通じて、ごみ質の均 一化を図り適正負荷による安定した燃焼 を維持することで、大気汚染物質の低減 に努める。	7-124
i 騒音の状況 (前略) 各調査地点の等価騒音レベル(L_{Aeq})をみる と、平日の昼間は61～68デシベル、夜間は58 ～67デシベル、休日の昼間は61～67デシベ ル、夜間は56～64デシベルであった。	7-179	i 騒音の状況 (前略) 各調査地点の等価騒音レベル(L_{Aeq})をみる と、平日の昼間は61～68デシベル、夜間は58 ～67デシベル、休日の昼間は61～67デシベ ル、夜間は56～64デシベルであり、地点2の 夜間で環境基準を超過していた。	7-179

準備書の記載内容	頁	評価書の記載内容	頁
表 7-2-4-5 道路交通騒音の調査結果 (前略) 注) 環境基準のB地域及び特例は、騒音に係る環境基準の類型の指定地域(松戸市)により指定されている。	7-179	表 7-2-4-5 道路交通騒音の調査結果 (前略) 注1) 環境基準のB地域及び特例は、騒音に係る環境基準の類型の指定地域(松戸市)により指定されている。 注2) 表中の[]は、環境基準を超過していることを示す。	7-179
表 7-2-11-18 重要な種(爬虫類) (前略) 選定基準⑤ 計0種	7-369	表 7-2-11-18 重要な種(爬虫類) (前略) 選定基準⑤ 計1種	7-369
表 7-2-11-21 重要な種の確認状況(昆虫類) 確認位置 都市計画対象事業実施区域外 (前略) ヒメマダラナガカメムシ 2例 ヒメジュウジナガカメムシ 1例	7-371	表 7-2-11-21 重要な種の確認状況(昆虫類) 確認位置 都市計画対象事業実施区域外 (前略) ヒメマダラナガカメムシ 1例 ヒメジュウジナガカメムシ 2例	7-371
表 7-2-11-28(1) 地域を特徴づける種又は指標性の高い種の変化についての予測結果(ツミ) 予測結果(供用時)【間接的影響】 (前略) 種の営巣地は都市計画対象事業実施区域から0.5～1.5kmと十分離れた場所で確認されている。	7-379	表 7-2-11-28(1) 地域を特徴づける種又は指標性の高い種の変化についての予測結果(ツミ) 予測結果(供用時)【間接的影響】 (前略) 本種の営巣地は都市計画対象事業実施区域から0.5～1.5kmと十分離れた場所で確認されている。	7-379
表 7-2-11-28(2) 地域を特徴づける種又は指標性の高い種の変化についての予測結果(ニホンヤモリ) 予測結果(工事中)【直接的影響】 (前略) 個体については、本種の移動能力は高いものの、解体や造成等の工事は、段階的に実施する等の環境保全措置により、周辺へ忌避することが考えられる。また、本種の生息及び繁殖環境となる人工構造物等の環境は予測地域内に広く残存することから、本事業による卵の消失数は少ないと考えられる。	7-380	表 7-2-11-28(2) 地域を特徴づける種又は指標性の高い種の変化についての予測結果(ニホンヤモリ) 予測結果(工事中)【直接的影響】 (前略) ただし、本種の生息及び繁殖環境となる人工構造物等の環境は予測地域内に広く残存する。本種の移動能力は高いものの、解体や造成等の工事は、段階的に実施する等の環境保全措置により、周辺へ忌避することが考えられる。また、旧施設の建屋等に存在する本種の卵は、本事業により消失するものの、本種の寿命は長く(約5～10年)、周辺に忌避した成体は、次年度以降も繁殖することが可能である。	7-380
表 7-2-11-29(1) 重要な種の生息状況の変化についての予測結果概要 確認状況 内 昆虫類 (前略) ヒメマダラナガカメムシ 1か所(2例) ヒメジュウジナガカメムシ 1か所(1例)	7-382	表 7-2-11-29(1) 重要な種の生息状況の変化についての予測結果概要 確認状況 内 昆虫類 (前略) ヒメマダラナガカメムシ 1か所(1例) ヒメジュウジナガカメムシ 1か所(2例)	7-382
表 7-2-11-30(12) 重要な種の生息状況の変化についての予測結果(ニホンヤモリ) 予測結果(工事中)【直接的影響】 (前略) 個体については、本種の移動能力は高いものの、解体や造成等の工事は、段階的に実施する等の環境保全措置により、周辺へ忌避することが考えられる。また、本種の生息及び繁殖環境となる人工構造物等の環境は予測地域内に広く残存することから、本事業による卵の消失数は少ないと考えられる。	7-395	表 7-2-11-30(12) 重要な種の生息状況の変化についての予測結果(ニホンヤモリ) 予測結果(工事中)【直接的影響】 (前略) ただし、本種の生息及び繁殖環境となる人工構造物等の環境は予測地域内に広く残存する。本種の移動能力は高いものの、解体や造成等の工事は、段階的に実施する等の環境保全措置により、周辺へ忌避することが考えられる。また、旧施設の建屋等に存在する本種の卵は、本事業により消失するものの、本種の寿命は長く(約5～10年)、周辺に忌避した成体は、次年度以降も繁殖することが可能である。	7-395

準備書の記載内容	頁	評価書の記載内容	頁
表 7-2-11-30(24) 重要な種の生息状況の変化についての予測結果（ヒメダラナガカメムシ） 確認状況 都市計画対象事業実施区域周辺 ：秋季1か所2例	7-407	表 7-2-11-30(24) 重要な種の生息状況の変化についての予測結果（ヒメダラナガカメムシ） 確認状況 都市計画対象事業実施区域周辺 ：秋季1か所1例	7-407
表 7-2-11-30(25) 重要な種の生息状況の変化についての予測結果（ヒメジュウジナガカメムシ） 確認状況 都市計画対象事業実施区域周辺 ：秋季1か所1例	7-408	表 7-2-11-30(25) 重要な種の生息状況の変化についての予測結果（ヒメジュウジナガカメムシ） 確認状況 都市計画対象事業実施区域周辺 ：秋季1か所2例	7-408
表 7-2-13-6(6) 注目種(典型性)の生息状況の変化についての予測結果（ニホンヤモリ） 予測結果（工事中）【直接的影響】 （前略） <u>個体については、本種の移動能力は高いもの、解体や造成等の工事は、段階的に実施する等の環境保全措置により、周辺へ忌避することが考えられる。また、本種の生息及び繁殖環境となる人工構造物等の環境は予測地域内に広く残存することから、本事業による卵の消失数は少ないと考えられる。</u>	7-453	表 7-2-13-6(6) 注目種(典型性)の生息状況の変化についての予測結果（ニホンヤモリ） 予測結果（工事中）【直接的影響】 （前略） <u>ただし、本種の生息及び繁殖環境となる人工構造物等の環境は予測地域内に広く残存する。本種の移動能力は高いもの、解体や造成等の工事は、段階的に実施する等の環境保全措置により、周辺へ忌避することが考えられる。また、旧施設の建屋等に存在する本種の卵は、本事業により消失するものの、本種の寿命は長く（約5～10年）、周辺に忌避した成体は、次年度以降も繁殖することが可能である。</u>	7-453
③ 環境保全措置 （前略） ・周辺環境に配慮し、緑に溶け込む周辺環境と調和がとれた施設を計画する。	7-474	③ 環境保全措置 （前略） ・ <u>本施設の景観計画と多目的広場等緑地の緑地計画を一体的に検討することで、周辺環境に配慮し、近景における景観にも配慮したうえで、緑に溶け込む周辺環境と調和がとれた施設を計画する。</u>	7-474
表 7-2-16-1(1) 解体工事に伴う廃棄物 （前略） 注1）その他は、繊維くず及び耐火物を想定した。	7-495	表 7-2-16-1(1) 解体工事に伴う廃棄物 （前略） 注1）その他は、 <u>本計画に係る廃棄物発生量の計画値ではなく、メーカーヒアリングの結果を参考に整理したものであり、繊維くず及び耐火物を想定した。</u>	7-495

14-6 環境の保全のための措置（第8章）

準備書の記載内容	頁	評価書の記載内容	頁
8-1 大気質 環境保全措置の内容 排出ガスは、法規制よりも、より厳しい <u>目標値</u> を満足させて排出する。 （中略） ごみ質の均一化を図り適正負荷による安定した燃焼を維持することで、大気汚染物質の低減に努める。	8-2	8-1 大気質 環境保全措置の内容 排出ガスは、法規制よりも、より厳しい <u>自主基準値</u> を満足させて排出する。 （中略） ごみピットでの貯留による焼却能力との調整や給じん装置を用いたごみ質・燃焼状況に応じた給じん量の調整、ごみクレーンによる攪拌等を通じて、ごみ質の均一化を図り適正負荷による安定した燃焼を維持することで、大気汚染物質の低減に努める。	8-2
8-14 景観 環境保全措置の内容 周辺環境に配慮し、緑に溶け込む周辺環境と調和がとれた施設を計画する。	8-16	8-14 景観 環境保全措置の内容 本施設の景観計画と多目的広場等緑地の緑地計画を一体的に検討することで、周辺環境に配慮し、 <u>近景における景観にも配慮したうえで、緑に溶け込む周辺環境と調和がとれた施設を計画する。</u>	8-16

14-7 監視計画（第9章）

準備書の記載内容	頁	評価書の記載内容	頁					
(準備書では記載なし)	－	表 9-2-1 施工時における事後調査の項目及び方法等	9-1					
		事後調査の項目		事後調査の手法等				
		環境要素		活動要素	対象項目	調査地点等	調査の手法	調査期間
		動物及び生態系		工事の実施	動物(ツミ)	都市計画対象事業実施区域内	樹林内を任意に踏査し、個体の確認及び営巣状況を把握する。	施工前の繁殖期(4月～6月頃)に1回
表 9-2-2 供用時における事後調査の項目及び方法等 事後調査の手法 調査地点等 水文環境 地下水の下流側及び上流側を含む3地点 ^{注2)}	9-2	表 9-2-2 供用時における事後調査の項目及び方法等 事後調査の手法 調査地点等 水文環境 地下水の下流側及び上流側を含む3地点 ^{注)} (中略) <u>注) 地下水観測孔は、工事開始前に新たに設置する計画であるが、今後詳細設計等を踏まえて詳細な位置を設定する。</u>	9-2					
表 9-2-2 供用時における事後調査の項目及び方法等 事後調査の手法 調査地点等 超低周波音 (G 特性音圧レベル (L _{G5} 等)) 現況調査を行った3地点	9-2	表 9-2-2 供用時における事後調査の項目及び方法等 事後調査の手法 調査地点等 超低周波音 (G 特性音圧レベル (L _{G5} 等)) 敷地境界付近の4地点	9-2					

14-8 環境影響の総合的な評価（第10章）

準備書の記載内容	頁	評価書の記載内容	頁
1. ばい煙又は粉じんの発生に伴う大気質 環境保全措置 (前略) ・排出ガスは、法規制よりも、より厳しい<u>目標値</u>を満足させて排出する。 (中略) ごみ質の均一化を図り適正負荷による安定した燃焼を維持することで、大気汚染物質の低減に努める。	10-6	1. ばい煙又は粉じんの発生に伴う大気質 環境保全措置 (前略) ・排出ガスは、法規制よりも、より厳しい<u>自主基準値</u>を満足させて排出する。 (中略) ・ごみピットでの貯留による焼却能力との調整や給じん装置を用いたごみ質・燃焼状況に応じた給じん量の調整、ごみクレーンによる攪拌等を通じて、ごみ質の均一化を図り適正負荷による安定した燃焼を維持することで、大気汚染物質の低減に努める。	10-6
1. ばい煙又は粉じんの発生に伴う大気質 $\mu\text{gHg}/\text{m}^3$	10-6～8	1. ばい煙又は粉じんの発生に伴う大気質 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	10-6～8
1. ばい煙又は粉じんの発生に伴う大気質 予測の結果 (前略) 方法書に対する知事意見を踏まえ、都市計画対象事業実施区域と最大着地濃度地点の間における高層住居の有無を確認した。	10-8	1. ばい煙又は粉じんの発生に伴う大気質 予測の結果 (前略) 方法書に対する知事意見を踏まえ、<u>最大着地濃度地点の方角において、都市計画対象事業実施区域と最大着地濃度地点の間における高層住居の有無を確認した。</u>	10-8
2. 資材又は機械の運搬に伴う工事用車両の走行による道路交通騒音 調査の結果 ①騒音の状況 (前略) 各調査地点の等価騒音レベル (L_{Aeq}) をみると、平日の昼間は 61～68 デシベル、夜間は 58～67 デシベル、休日の昼間は 61～67 デシベル、夜間は 56～64 デシベルで<u>あった。</u>	10-17	2. 資材又は機械の運搬に伴う工事用車両の走行による道路交通騒音 調査の結果 ①騒音の状況 (前略) 各調査地点の等価騒音レベル (L_{Aeq}) をみると、平日の昼間は 61～68 デシベル、夜間は 58～67 デシベル、休日の昼間は 61～67 デシベル、夜間は 56～64 デシベルで<u>あり、地点2の夜間で環境基準を超過していた。</u>	10-17
1. 樹木の伐採、切土又は盛土、仮設工事、基礎工事及び施設の設置工事並びに施設の有存在等に伴う動物 予測の結果 ③重要な種の生息状況の変化 重要な種の生息状況の変化についての予測結果概要 確認状況 外 昆虫類 (前略) 8 ヒメマダラナガカメムシ <u>2</u>例 9 ヒメジュウジナガカメムシ <u>1</u>例	10-34	1. 樹木の伐採、切土又は盛土、仮設工事、基礎工事及び施設の設置工事並びに施設の有存在等に伴う動物 予測の結果 ③重要な種の生息状況の変化 重要な種の生息状況の変化についての予測結果概要 確認状況 外 昆虫類 (前略) 8 ヒメマダラナガカメムシ <u>1</u>例 9 ヒメジュウジナガカメムシ <u>2</u>例	10-34
1. 施設の有存在等に伴う景観 環境保全措置 (前略) ・周辺環境に配慮し、緑に溶け込む周辺環境と調和のとれた施設を計画する。	10-40	1. 施設の有存在等に伴う景観 環境保全措置 (前略) ・<u>本施設の景観計画と多目的広場等緑地の緑地計画を一体的に検討することで、周辺環境に配慮し、近景における景観にも配慮したうえで、緑に溶け込む周辺環境と調和のとれた施設を計画する。</u>	10-40

14-9 資料編

準備書の記載内容	頁	評価書の記載内容	頁
(準備書では記載なし)	—	2-5 高層住居及び近傍住居への予測及び評価 準備書に対する知事意見の～（後略） 2-5-1 準備書に対する知事の意見及びそれに対する都市計画決定権者の見解 準備書に対する知事意見の～（後略） 2-5-2 予測 1. 予測地域 予測地域は、評価書本編～（後略） 2-5-3 評価 1. 評価の手法 評価書の手法は、評価書本編～（後略）	資2-22 ～35
No.1 凡例名（群落名）オオフサモ群落 （前略） 2024 年 10 月 30 日	資6-8	No.1 凡例名（群落名）オオフサモ群落 （前略） 2024 年 7 月 30 日	資6-8
No.5 凡例名（群落名）ヨシ群落 （前略） 2024 年 10 月 30 日	資6-12	No.5 凡例名（群落名）ヨシ群落 （前略） 2024 年 7 月 30 日	資6-12